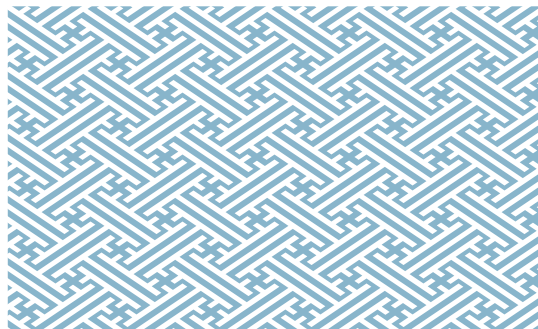


まなぶんか

2018
SPRING
No.20



鎧兜 を知ろう!



Contents

- P.02 子どもの日スペシャル
鎧兜を知ろう!
- P.06 みやざき空さんぽ
2018年夏、火星が地球に大接近!
職員のひとりごと
- P.07 イベントスケジュール
- P.08 まちがいさがし

こどもの日
スペシャル

鎧兜

を知ろう！

●こどもの日にしよう

五月五日はこどもの日です。この日は端午の節句ともいわれ、昔から菖蒲あやむすやヨモギといった強い香りを持つ薬草で厄を払い、無病息災を願いました。日本では鎌倉時代から「菖蒲が尚武しょうぶ」と同じ読みであることから、また菖蒲の葉が剣を連想させることから、端午を男子の節句として、男の子の成長を祝い、健康を祈るようになりました。鎧や兜も命を守る道具の象徴として、男の子が生まれるとその子に身の危険が及ばず安全に暮らせるように飾り、また外にはこいのほりを立てるようになりました。現在では、こどもの日として子どもたちの成長を祝う日となりました。

みやぎき歴史文化館では、毎年ゴールデンウィークの三日間にわたって、親子で楽しめる子どもの日イベントを開催します。このイベントでは毎年、鎧兜の着付けを開催しており、小さいお子様から大人の方まで鎧兜を着付けて、子どもたちの成長を祝ってみてはいかがでしょうか。



鎧兜の試着

色々な鎧兜が勢ぞろい！
有名な武将の鎧兜もありますよ！

イベント紹介
5/4・5



- 【受付方法】 当日受付
※混雑する場合は整理券を配布します。
- 【開始時間】 9:00~15:30
(12:00~13:00は休止)
- 【所要時間】 約30分
- 【対象】 幼児~一般
- 【料金】 無料

鎧兜の試着
以外にも
楽しい催し物を
計画中！



●そもそも鎧兜って何？

その昔、人々は争う時、武器から身を守るために「楯たて」という防具を使って戦っていました。しかし楯は片手に持つとき、もう一方の手で攻撃しなければならなかったため、弓矢といった両手を使う武器は使えませんでした。また攻撃する際も片手でしか武器を持つことが出来ないため、両手で武器を動かすよりも攻撃力は弱く、思うように攻撃が出来ませんでした。そこで頭や体に取り付けられ、機動性を持つ鎧と兜が造られました。

日本では短甲たんこうという鎧が弥生時代には存在しており、短甲は挂甲かけよろいとともに古代の鎧兜として長く使われました。時代が下り戦いの様式も変わると鎧は改良化され、大鎧おほよろいや当世具足とうせきそくなどといった様々な鎧が現れました。また頭を防御する兜は、古代から細板を並び重ねて鉄留てつりゅうめし繋ぎつなぎ合わせて造られ、大まかに鉄てつ(留具)を生かしたイボ状の突起が数多くみられるものを星兜ほしのかぶと、鉄てつの頭をつぶした筋がついている筋兜すぢのかぶとがありました。星兜は室町時代ごろに廃れ、その後筋兜が全盛となりました。また室町時代終わりごろに当世具足が現れると変わり兜という個性的な形をした兜も誕生しました。

江戸	安土桃山	室町・南北朝	鎌倉	平安	奈良	飛鳥	古墳	弥生
大鎧 騎馬戦での機能性と攻撃からの防御性を追求した鎧。								
胴丸 徒歩戦用に改良された鎧。								
腹当・腹巻 背中まで防護する鎧を腹巻、前と左右のみ覆う鎧を腹当という。最も簡略化された鎧。								
当世具足 火縄銃や槍に対抗するため、動きやすく頑丈に造られた鎧。								
					短甲 胴を守る徒歩戦用の鎧。			
					挂甲 細長い板を鉄や皮でとじ合わせており、柔軟性がある騎馬戦用の鎧。			
					宮崎で出土した短甲と胄			
					三角板鉄留短甲 (さんかくいたびょうどめたんこう)		小札鉄留胄底付胄 (こさねびょうどめまきしつきかぶと)	

下北方5号地下式横穴墓出土 提供：宮崎市教育委員会



鎧兜の歴史

大 鎧

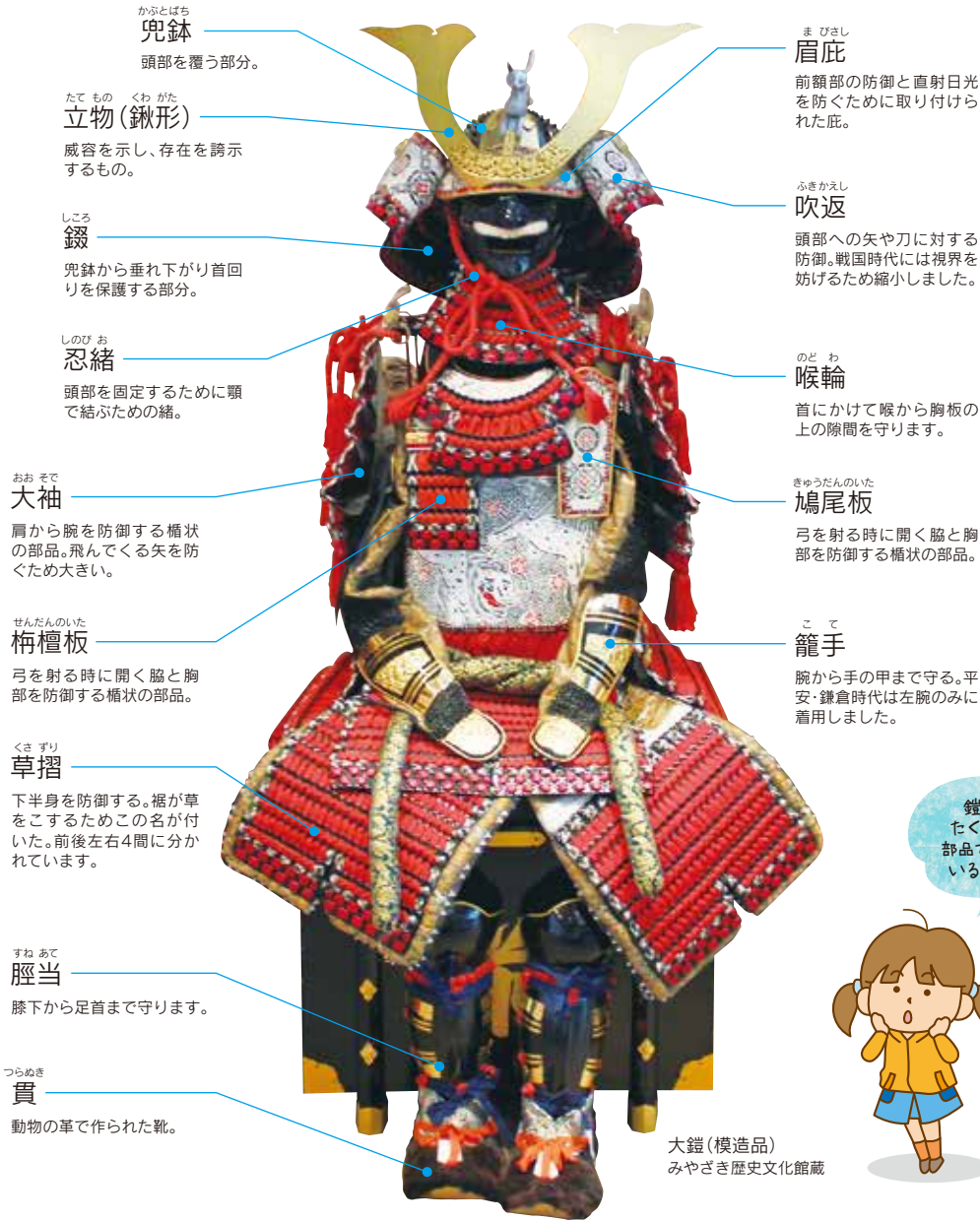
大鎧は平安時代以来、上級の騎馬武者が着用する鎧兜として使われていました。騎馬武者の弓射戦に対応して発達し重量がありますが、馬上では鎧の重量が鞍にかかるため安定し、弓矢への防御性が高いのが特徴です。着用する時は、胴の右側に脇楯と呼

ばれる部品を先に付けてから、体を胴の横から入れて装着しました。胴、大袖、草摺は小札という細長い革や鉄の板を、絹などの組紐や革紐で綴り合わせて作られています。南北朝時代頃に集団戦・接近徒歩戦が盛んになると、大鎧は次第に実際の戦いでは使われなくなりました。その後大鎧は武威の象徴として、あるいは奉納・贈答品といった用途に転換されていきました。

鎧兜は
たくさん
の部品で
できて
いるんだね



大鎧(模造品)
みやざき歴史文化館蔵



かぶとぼち
兜鉢
頭部を覆う部分。

たてもの くわがた
立物(鍬形)
威容を示し、存在を誇示するもの。

しころ
鏡
兜鉢から垂れ下がり首回りを保護する部分。

しのびお
忍緒
頭部を固定するために頸で結ぶための緒。

おおそで
大袖
肩から腕を防御する楯状の部品。飛んでくる矢を防ぐため大きい。

せんだんのいた
柵板
弓を射る時に開く脇と胸部を防御する楯状の部品。

くさすり
草摺
下半身を防御する。裾が草をこするためこの名が付いた。前後左右4間に分かれています。

すねあて
脛当
膝下から足首まで守ります。

つらぬき
貫
動物の革で作られた靴。

まびさし
眉庇
前額部の防御と直射日光を防ぐために取り付けられた庇。

ふきかえし
吹返
頭部への矢や刀に対する防御。戦国時代には視界を妨げるため縮小しました。

のどお
喉輪
首にかけて喉から胸板の上の隙間を守ります。

きゅうだんのいた
鳩尾板
弓を射る時に開く脇と胸部を防御する楯状の部品。

こて
籠手
腕から手の甲まで守る。平安・鎌倉時代は左腕のみに着用しました。

鎧兜の違い豆知識

Checkpoint 兜の上にある穴 - 天辺の穴 -

兜の上に穴を天辺の穴といい、古い時代ほど穴が大きくここから髻(結った髪)を出す風習がありました。この穴から髻を出すことで、兜を固定させる役割を果たしました。しかし鎌倉時代には髻を解いた状態でかぶるようになったため、穴は次第に縮小され通気孔としての役割を持ちました。室町時代終わり頃になると穴のないものも現れましたが、この穴の縁を飾る部品を天辺の座といい、時代が下ると八幡座と言われるようになり、武神である八幡神が宿る場所として格式高い装飾を施されるようになりました。



Checkpoint 身体と武具の動きを考えた部品 - 柵板・鳩尾板 -

大鎧の左胸には鳩尾板、右胸には柵板があります。この板は弓射戦の時に対応した防具で、鳩尾板には鉄板の部品で防御性の強いもの、柵板は草摺や大袖などと同様に小札を綴ったもので、腕を動かしやすい特徴があります。これは右利きの武者の場合、右腕が動かしにくいと弓を放つときや太刀打ちの時に邪魔となるため、右胸には動かしやすい柵板がつけられるようになったと考えられます。

兜の名前で想像しよう!

鎧兜の名前の見ると、難しい漢字が並んでいて、どのように読んだらいいのか、わからないものが多いですね。しかし鎧兜の名前には形・材料・模様などの特徴が隠されており、一つずつ読み解いていくと、より深く鎧兜を鑑賞することができます。ここでは大鎧の一例をご紹介します。

例 白絲威褌取鎧(しろいとどしつまとりよろい)

- **紐と色に注目!**
白……………白色
絲威(いとどし)…絹の組紐。威とは小札を上下に結び合わせていること。この他に革製もあります。
- **威の技法とデザインに注目!**
褌取(つまとり)…色合いが三角状に変わる柄。この他にも肩取威(かたどりおどし)、沢瀉威(おもだかおどし)など様々なデザインがあります。
- **鎧の種類に注目!**
鎧…大鎧のこと。その他に短甲、胴丸、当世具足などが付くことがあります。

その他にも、鎧の種類によって名称に胴の形・胴を構成する板の枚数、小札の素材・塗りなども含まれています。そのため大鎧とはまた違った名前がたくさんあります。ぜひ皆さんも博物館などで注目してみたいかがでしょうか。

当世具足

室町時代末期から安土桃山時代にかけて戦闘の数が増え、激化していききました。戦闘の増加は、鎧の需要を上げ、短期間にたくさん生産できるように簡略化が進みました。また、戦の方法は弓矢よりも槍や鉄砲を使用し、騎馬戦ではなく歩兵を使った集団

戦へと変化しました。これにより鎧は今までよりも隙間が少なく、足さばきの良いものが好まれるようになりまし。このような時代の流れにより鎧は以前と比べて大きく変化していきまし。当世具足の「当世」とは、「今の世」という意味です。以前の鎧から変化し、今風の鎧ということ。旧型の鎧や胴丸、腹巻と区別して当世具足と呼ばれるようになりまし。



兜
頭を守るための防具です。古代からありましたが、当世具足では大人数での戦の中で目立つように兜に実用性や装飾性が増してきまし。

頬当
顔面を守るための防具です。顔を覆う部分の広さによって総面、目の下頬、半分頬といった種類がありまし。鼻や鬚、髭などの装飾が施されているものもありまし。

袖
肩や腕を守るための防具です。当世具足以前は大型でしたが、次第に小型化してきまし。

籠手
手の甲や腕を守る部分です。鉄や革などを使用して作られまし。以前は大鎧の時代には弓矢を使うための片腕にだけつけていまし、その後は両方の腕につけるようになりまし。

草摺
腰回りや太ももを守る部分です。大鎧では4間からなりまし、動きやすさを考え、8間から11間に分割されていきまし。

脛当
脛を守る武具です。布地で基本をつくり、その上に鉄板と鎖が縫い付けられた篠脛当(しのすねあて)と呼ばれるものが多いです。左から履くのが古くからの習慣です。

小鱗
当世具足に特徴的な部分です。袖が小型化したことよって、肩の上部を守るために付けられるようになりまし。

脇曳
具足をつけた時にできる脇の上部の隙間を保護するものです。胴と離れているものと付けられて一体となっているものがありまし。

佩楯
腰の前と、左右に垂れている部分を指し、腿と膝を守る武具です。膝鎧とも呼ばれていまし。

当世具足
15~20kg

当世具足 稚児鎧(模造品)
みやざき歴史文化館蔵



鎧兜の重さを比較してみよう!

- 短甲.....約3.5kg
- 挂甲.....約25kg
- 胴丸・腹巻・腹当... 10kg前後

重さを他の物で例えると

当世具足

- 普通車のタイヤ...約2本
- 2リットルペットボトル...約10本

大鎧

- 普通車のタイヤ...約3本
- 2リットルペットボトル...約15本

大鎧
30kg前後

重いものは40kgを超えるものもありまし。

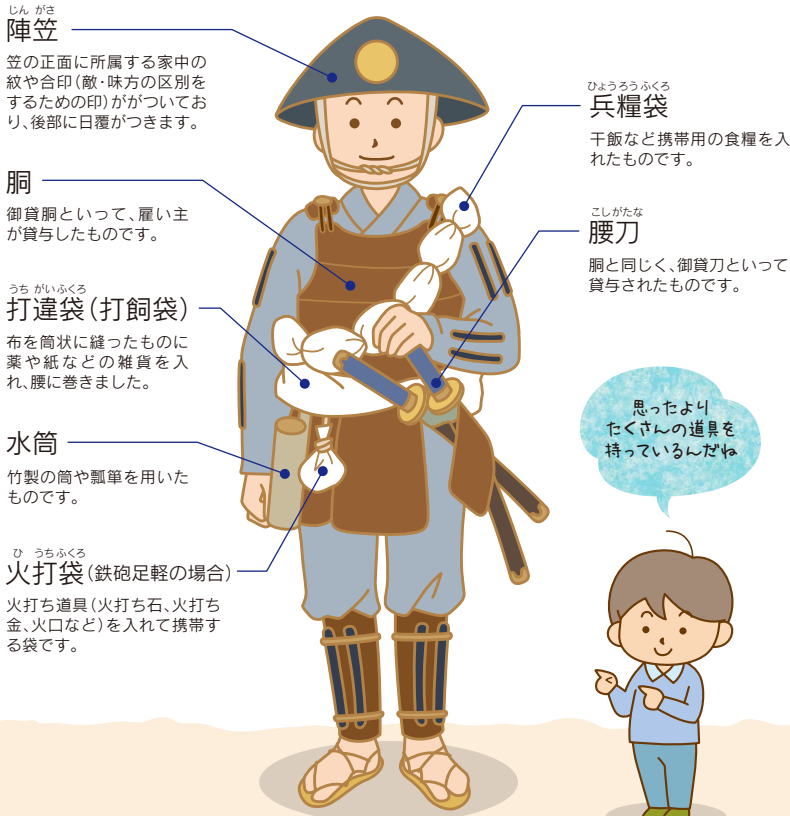


足軽

中世以降の戦闘において、ゲリラ戦や後方攪乱などを担った雑兵を指し、足軽く戦場を疾走するという意味で、足白(あししろ)・足弱(あしよわ)・疾足(しつそく)とも呼ばれました。古くは源平の争乱を描いた『平家物語』や南北朝期の争乱を描いた『太平記』といった軍記物語にその名が見えます。

応仁の乱(1467~1477)の頃になると足軽は歩兵集団として組織化して奇襲や掠奪を行っていたほか、大名たちは農村から動員した「野伏」を追撃や伏兵として用いています。戦国時代に入っ

て集団戦が大規模化していくにつれ、弓や槍、鉄砲



陣笠
笠の正面に所属する家中の紋や合印(敵・味方の区別をするための印)がついており、後部に日覆がつかます。

胴
御貸胴といって、雇い主が貸与したものです。

打違袋(打飼袋)
布を筒状に縫ったものに葉や紙などの雑貨を入れ、腰に巻きました。

水筒
竹製の筒や瓢箪を用いたものです。

火打袋(鉄砲足軽の場合)
火打ち道具(火打ち石、火打ち金、火口など)を入れて携帯する袋です。

思ったよりたくさんの道具を持っているんだね



兵糧袋
干飯など携帯用の食糧を入れたものです。

腰刀
胴と同じく、御貸刀といって貸与されたものです。

足軽の3日分の食事が入っています



気になる…?! 兵糧袋の中身

干飯

米を炊飯し乾燥させたもので保存性・携帯性に優れています。そのままかじったり、お湯で戻して柔らかくして食べていました。似たものとして現代のアルファ米があります。



焼味噌

焼いて味噌玉にして携帯していました。お湯に溶かして味噌汁にしたり、おかず代わりにかじったりしていました。



梅干し

保存食の王様。いつの時代でも大活躍ですね。



焼き塩

粉末状では湿気に弱いため、焼いて固形にした塩です。三角形や筒状にして携帯しました。



芋がら縄

里芋の茎を干して作った芋がらを縄状に編んだあと、味噌で煮込んでから乾燥させたものです。腰に荒縄のようにくくりつけ、そのままかじったり、お湯で戻して味噌汁のようなものとして食べていました。昔のインスタント味噌汁ですね。



といった武器別の部隊に分かれて戦いました。江戸時代に入ると、武士より低い身分として区別され、幕府・藩によって制度は違いますが、常時は雑役警備や番人、事務などを担いました。

武将たちのいくさの舞台 山城

むか しさ じょう

～高岡にそびえる穆佐城～

山城とは、自然の地形をうまくつかって堀などをつくり、守りやすとした城のことです。宮崎や鹿児島などの南九州の山城は、山そのものを城にみたと、大きく深い堀をたくさんつくり、「曲輪(郭)」をくぎっているところが特徴です。高岡町には、資料によると16もの山城があったと言われてい

ます。そのほとんどは、今から600年前ごろからつくられた小さな城です。



穆佐城(むかさじょう)
☆国指定史跡 ☆指定年月日:平成14年3月19日
日向三高城に数えられる穆佐城は、建武2年(1335)に文献に現れる宮崎県内で最も古い時期に相当する山城の1つです。中世の山城には天守閣のような建物はなく、山を切り開いて曲輪・堀切・土塁などを築いて防御性を強めた構造でした。また、島津氏と伊東氏が200年以上にわたって攻防を繰り返した舞台でもありました。

企画展

高岡の指定文化財展

高岡に残る国・県・市指定文化財28件を紹介しています。国指定史跡 穆佐城も、城郭模型や発掘された出土品を展示。高岡を知るいい機会ですよ。

【会期】

3月15日(木)～4月14日(土)

【会場】

宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館1階 企画展示室

※この期間は特別開館のため、休館日はありません。

みやざき空さんぽ

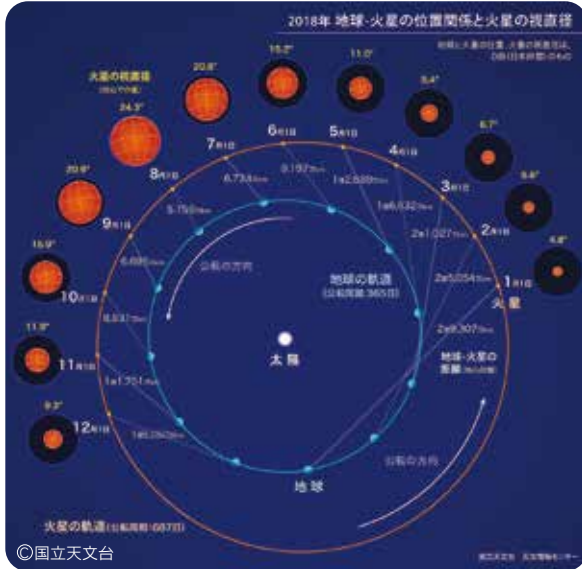
2018年夏、火星が地球に大接近!



ちか~い!



夜空でひとときわ赤く輝く火星は、地球のひとつ外側を公転している惑星です。火星は直径が地球の半分ほどしかなく、地球から遠い位置にあるときには、望遠鏡を使っても表面のようすをなかなか観察することができません。しかし、火星はおよそ2年2カ月ごとに地球に接近し、観察のチャンスが巡ってきます。そして、そのチャンスが、2018年の夏に訪れます。2018年の夏は、赤く輝く火星に注目しましょう!



観察はココに注目!

●最接近は7月31日

2018年春から夏にかけて、接近する火星は徐々に明るくなっていくぞ! 6月下旬から9月上旬まではマイナス2等を超え、観察しやすい時期が長く続くんじゃない。次第に明るくなっていく火星を楽しんでおくれ~!

観察に適した時間等は宮崎科学技術館までお問合せください



●望遠鏡で観察

望遠鏡で見たときに火星の極部分にある「極冠(きょくかん)」などがどれだけはっきり観察できるかが見所じゃぞ。

※「極冠」…惑星などの氷に覆われた高緯度地域のこと。左図で白く見える部分。



●6月23日(土)に「火星を徹底解剖!」をテーマに星空教室を実施します。詳しくは宮崎科学技術館HPまで! ●

各館問い合わせ先



宮崎科学技術館 ()内は団体料金
 展示室【大人540円(430円)、子ども210円(170円)】
 展示室とプラネタリウム【大人750円(600円)、子ども310円(250円)】
 〒880-0879 宮崎市宮崎駅東1丁目2番地2
 TEL 0985-23-2700 FAX 0985-23-0791
<http://cosmoland.miyabunkyo.com>



宮崎市歴史資料館 <http://rekishi.miyabunkyo.com>
 問合せはみやざき歴史文化館 0985-39-6911

みやざき歴史文化館 (入館料無料)

〒880-0123 宮崎市大字芳土字岩永迫2258番地3
 TEL 0985-39-6911 FAX 0985-39-9297



宮崎市佐土原歴史資料館 (入館料無料)

〒880-0301 宮崎市佐土原町上田島8227番地1



宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館 (入館料無料)

〒880-2221 宮崎市高岡町内山3003番地56



大淀川学習館 (入館料無料)

〒880-0035 宮崎市下北方町二反五瀬5348番地1
 TEL 0985-20-5685 FAX 0985-22-8481
<http://oyodo.miyabunkyo.com>



宮崎市民プラザ

〒880-0001 宮崎市橋通西1丁目1番2号
 TEL 0985-24-1008 FAX 0985-29-2244
<http://www.siminplaza.com>

「まなぶんか」とは

“文化”を英訳するとCulture。語源はラテン語で“耕す”を意味するColereです。当協会では、管理運営している6つの教育文化施設が、市民の皆様の学ぶ心を“耕す”役割となれるよう、「学ぶ」と「文化」を合わせた「まなぶんか」を機関誌名としました。

Column

職員のみとりごと

大淀川学習館 業務課業務係長 日高 謙 次

子どもの頃、兄に連れられてカブトムシやクワガタを捕まえて遊んでいました。多分、4歳ぐらいの時には一人で捕まえていたと思います。そんな幼少期を経て大人になった現在はどうかと考えると、全く変わってない自分に改めて気づきました(笑)カブトムシ・クワガタには私を惹きつける何かがあるのかもしれない。

カブトムシは漢字で甲虫(兜虫)と書き、鎧で頭を守る兜に似ている事から名前が付いたと言われています。クワガタはその兜についている鋏形に似ている事から名前が付いたと言われています。ライバルと言われている2種が同じような理由で名前が付いたと言われているのは興味を持ちますね。ただし、私は鎧には興味を持ちませんでした。

もうすぐ昆虫の活動時期になります。今年はどうな虫たちと出会えるのか楽しみです。



イベントスケジュール

【宮崎科学技術館】 [Facebook](#)、[Twitter](#) もチェック!!

みんなでキラキラ星空コンサート 5月4日(金・祝) こどもの日スペシャル

星の話とライブコンサートの二部構成。家族で星空と音楽を楽しもう♪
【会場】3階プラネタリウムホール 【時間】18:00~19:30 【対象】幼児~一般 240名
【料金】大人400円(当日券500円) 子ども300円(当日券400円) 4月1日(日)~一般前売り発売

科学とあそぼう!こどもの日全館無料開放 5月5日(土・祝)

展示室・プラネタリウムを含む全館を無料開放!プラネタリウム特別6回放映やサイエンスショーなどイベント盛りだくさん☆
【会場】全館 【時間】9:00~16:30 【対象】どなたでも 【料金】無料

星空さんぽ in プラネタリウム 5月19日(土)

昔の船乗りたちの星空航海術を使い、夜空を散歩します。
【会場】3階プラネタリウムホール 【時間】19:00~20:00 【対象】幼児~一般 240名
【料金】前売り400円(当日券500円) 4月14日(土)~友の会先行発売 4月21日(土)~一般前売り発売

第10回 地球を守ろう!環境展 6月2日(土)~23日(土)

環境をテーマとした世界各地の子どもたちが描いた作品展示や、週末はワークショップなどを行います。
【会場】1階多目的ホール 【時間】9:00~16:30 【対象】どなたでも 【料金】無料

他にもいろいろなイベント・教室を企画しています。
詳しくは、当館HPなどをご覧ください。

休館日	4月	2日(月)・9日(月)・16日(月)・23日(月)
	5月	1日(火)・7日(月)・14日(月)・21日(月)・28日(月)・29日(火)
	6月	4日(月)・11日(月)・18日(月)・25日(月)

【大淀川学習館】 [Facebook](#)、[Twitter](#) もチェック!!

【春の特別企画展】「水の生き物と仲良くなろう!ザリガニ展」 4月7日(土)~6月10日(日)

毎年、子どもたちに大人気の企画展です。アメリカザリガニ釣りに挑戦しておもしろい生態にふれる事ができます。スタンプを集めると缶バッジのプレゼントがあります。
【会場】2階 企画展示室 【時間】9:00~16:30 【対象】どなたでも 【料金】無料

【ふれあいウィークエンド】ミニ鯉のぼりを作ろう

紙を使って小さな鯉のぼりの飾りを作ります。
【会場】2階 実験・工作室(当日先着受付) 【時間】14:15~15:30 【対象】どなたでも 40名 【料金】無料

【春のイベント】水辺の楽校! 植物の名前当てに挑戦しよう!

水辺の楽校の植物について、名前調べに挑戦しながらミニハイキングを楽しくいただけます。
【会場】2階 レクチャー室(当日先着受付) 【時間】13:30~15:00 【対象】どなたでも 20組 【料金】無料

【ふれあいウィークエンド】新聞紙でかぶと飾りを作ろう

新聞紙を使ってかぶと飾りを作ります。
【会場】2階 実験・工作室(当日先着受付) 【時間】14:15~15:30 【対象】どなたでも 40名 【料金】無料

【春のイベント】ミニつり大会 5月5日(土・祝)

タライに浮かんでいる発泡スチロールの魚を釣って、楽しめます。
【会場】2階 レクチャー室(当日先着受付) 【時間】13:30~14:30 【対象】小学生以下(保護者同伴) 100名 【料金】無料

【ふれあいウィークエンド】紙コップでゲコゲコガエルを作ろう

紙コップとストローでカエルの鳴き声が出るおもちゃを作ります。
【会場】2階 実験・工作室(当日先着受付) 【時間】14:15~15:30 【対象】どなたでも 40名 【料金】無料

【ふれあいウィークエンド】折り紙で水族館を作ろう 6月16日(土)

魚の形に折った折り紙でミニ水族館を作ります。
【会場】2階 実験・工作室(当日先着受付) 【時間】14:15~15:30 【対象】どなたでも 40名 【料金】無料

休館日	4月	2日(月)・9日(月)・16日(月)・23日(月)
	5月	1日(火)・7日(月)・14日(月)・21日(月)・28日(月)
	6月	4日(月)・11日(月)・18日(月)・25日(月)

【宮崎市歴史資料館】 [Facebook](#) もチェック!!

●みやざき歴史文化館

企画展 歴史文化館の1年間のあゆみ展

平成29年度のみやざき歴史文化館の体験学習や講座等を写真で振り返ります。
【会場】みやざき歴史文化館 【時間】9:00~16:30 【料金】無料

さつまいもの畝作りと植え付け 5月13日(日)

さつまいも畑の畝を作り、さつまいもの苗を植え付けをします。
【会場】みやざき歴史文化館 【時間】13:30~15:30 【料金】無料
【抽選制】募集期間:4月13日(金)~19日(木) 子どもと保護者 50名

竹馬作り 5月27日(日)

昔ながらの竹を使った玩具(竹馬)をつくります。
【会場】みやざき歴史文化館 【時間】13:30~15:30 【料金】無料
【抽選制】募集期間:4月27日(金)~5月3日(木) 小学生以上の子どもと保護者 30名

オリジナル埴輪作り 6月10日(日)

テラコッタ粘土を使いオリジナルな埴輪を作ります。
【会場】みやざき歴史文化館 【時間】13:30~15:30 【料金】200円
【抽選制】募集期間:5月10日(木)~16日(水) 子どもと保護者 30名

まが玉作り 6月24日(日)

まが玉について学習し、まが玉を作ります。
【会場】みやざき歴史文化館 【時間】13:30~15:30 【料金】200円
【抽選制】募集期間:5月24日(木)~30日(水) 小学生以上の子どもと保護者・一般 30名

●宮崎市佐土原歴史資料館 [Facebook](#) もチェック!!

佐土原城探検 4月22日(日)

佐土原城(山城)を散策し、城の歴史や構造を学びます。
【会場】佐土原歴史資料館 【時間】13:30~15:30 【料金】無料
【抽選制】募集期間:3月23日(金)~29日(木) 子どもと保護者・一般 30名

茶道体験 5月6日(日)

鶴松館の大広間を利用して、伝統的な茶道を体験します。
【会場】佐土原歴史資料館 【時間】13:30~15:30 【料金】300円
【抽選制】募集期間:4月6日(金)~12日(木) 子どもと保護者・一般 20名

企画展 佐土原の民芸工芸品展

佐土原人形やうすら車など佐土原で作られてきた民芸工芸品を紹介します。
【会場】佐土原歴史資料館 【時間】9:00~16:30 【料金】無料

生け花体験 6月10日(日)

鶴松館の大広間を利用して、雰囲気のある生け花を体験します。
【会場】佐土原歴史資料館 【時間】13:30~15:30 【料金】1000円
【抽選制】募集期間:5月10日(木)~16日(水) 子どもと保護者・一般 20名

●宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館 [Facebook](#) もチェック!!

企画展 高岡の指定文化財展 3月15日(木)~4月14日(土)

高岡町域に残る国・県・市指定文化財について紹介します。
【会場】天ヶ城歴史民俗資料館 【時間】9:00~16:30 【料金】無料

弓矢作り 6月17日(日)

竹を利用して弓矢を作り、的当て遊びをします。
【会場】天ヶ城歴史民俗資料館 【時間】13:30~15:30 【料金】無料
【抽選制】募集期間:5月17日(木)~23日(水) 子どもと保護者 30名

休館日	【みやざき歴史文化館】	4月 2日(月)・9日(月)・16日(月)・23日(月)	【宮崎市佐土原歴史資料館】
	5月 1日(火)・7日(月)・14日(月)・21日(月)・28日(月)	【宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館】	月曜日から金曜日まで(休日に当たる日を除く)
	6月 4日(月)・11日(月)・18日(月)・25日(月)		

※宮崎市佐土原歴史資料館 特別開館期間 (5/15(火)~6/14(木) 休館日なし)
※宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館 特別開館期間 (3/15(木)~4/14(土) 休館日なし)

ま ち が い さ が し

Let's try!!
全部見つけられるかな?



まちがいを見つけ賞品をGETしよう!! ● 紋かるた
応募者の中から抽選でステキな賞品をプレゼント。



● 侍筆 ※種類は選べません
(伊達政宗、真田幸村)



● 日本刀鉛筆
伊達政宗モデル
(赤色・黒色2本入)

応募方法

- まちがいの場所(5つ)を全てサインペン(油性)で囲んで、点線に沿って切り取り、剥がれないようにしっかりと官製ハガキに貼付けてください。※コピー不可
- 住所・氏名・学年(職業)・電話番号を明記の上、下記住所までご応募ください。

宛て先

〒880-0903 宮崎市太田3-1-31 北一株式会社
「まなぶんか まちがいさがし」係

お問い合わせ先

(公財)宮崎文化振興協会(担当:岩井)TEL.0985-41-7004



【前号の答え】

- ツマミの色が変わっている。
- ランプが消えている。
- 青色がオレンジ色に変わっている。
- 線が増えている。
- ツマミが下がっている。



上の写真にはまちがいが5つ隠れています。
下の写真と見比べながら探して下さいね。



締切

平成30年5月31日(木)
消印有効

当選は発送をもって替えさせていただきます。

※応募にあたりご記入いただいた個人情報は、抽選および賞品の発送以外の目的に使用することはありません。

宮崎サンシャインFM
76.1Mhz

www.sunfm.co.jp

毎週金曜日16:00~18:55放送の
"夕焼けワイド若草通りはパラダイス"内
[文化振興協会だより]にて催事情報を放送中!!

業務用から、スポーツ応援用まで!

横断幕

屋外・屋内を問わず、長期間の使用に耐える素材とインクを使用します

「伝えたい」をカタチに!

nap 有限会社 ナップ

www.m-nap.com

屋外広告・印刷全般・屋外エビラビジョン管理
屋内ディスプレイPOP

〒880-0901 宮崎市東大波1丁目1番41号 napビル
TEL.0985-51-7409 FAX.0985-51-0148
E-mail : pro@m-nap.com

編集後記

「ジュウ④」

毎年、当協会が管理運営する施設で五月五日にこどもの日のイベントを開催しています。科学技術館は無料開放。大淀川学習館はミニ釣り大会等。他にも各所で様々なイベントが行われており、子どもさんのいらっしやるご家庭などはどこに行こうか悩ましい日ですね。子どもが主役のようなことどもの日ですが、実はもう一つ隠れたキーワードがあるんです。こどもの日とはこどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する「という日なんです。そう、「母に感謝この部分が隠れてしまっているのです。ぜひ子どもの健やかな成長を願うとともに、日頃頑張っているお母さんの事も気にかけて、バラエティー豊かな各館の催しへお越しください。」経営戦略課 岩井

